※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	７実教　福祉３０４「こころとからだの理解」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年生で学んだ、知識、技術を踏まえ事例、事象を通して、現在の介護現場での問題について考察していきます。「こころ」と「からだ」の両面について学び、基本的な知識を取得した上で、さらに介護場面で実践していけるように自ら考える力をつけられるように学習します。

2　学習の到達目標

・高齢者の自立した生活の支援のために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得し、介護実践に活用できる能力を身につける。
・介護現場の現状について身近な問題から課題を見つけ、自らの知識と判断で解決しようとする事ができる。
・学んだ知識や技術をもとに、介護を必要としている人に寄り添い、主体的に援助しようとすることが出来る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の介護について社会の変容や特色から理解し、介護に関する基礎的な知識を身につけると共に介護の必要性、あり方について理解している。介護を必要としている人に援助できるように、こころとからだの仕組みを理解し、具体的な介護場面で適切に活用できるようにしている。	現在の介護について自分の身近な問題から課題を見つけ、解決できるように思考を深め、基礎的な知識と技術を基に適切に判断し、表現する能力を身につけている。	介護を必要としている人に関心をもち、介護を必要としている人に援助できるようにこころとからだの仕組みについて学んだ上で実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 中間(4・5・6月)	障害の理解	・障がいの基礎的理解 ・障がいの種類 ・発達障がい	a:障がいについて関心を持ち、知識を身につけている。 b:障がいがもたらす生活機能障がいを踏まえ、障がい者が安全に日常生活を送るための支援方法について考察し、活用できるように工夫している。 c:障がい者に対する安全な支援方法を考察し、主体的に考え、行動しようとしている。	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	授業態度 記述の点検 (ワークプリント、ノート)
前期 期末(6・8・9月)	障害の理解	・ダウン症 ・知的障がい ・身体障がい	a:障がいについて関心を持ち、知識を身につけている。 b:障がいがもたらす生活機能障がいを踏まえ、障がい者が安全に日常生活を送るための支援方法について考察している。 c:障がい者に対する安全な支援方法を身につけている。障がい者の実態を理解し、主体的に考え、行動しようとしている。	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	授業態度 記述の点検 (ワークプリント、ノート)
後期 (10・11月)	認知症の理解	・認知症による症状 ・認知症の主な病気 ・認知症の人の特徴、行動 ・認知症に伴う日常生活への影響	a:認知症の種類、特徴、症状について理解し、知識を身につけている。 b:認知症患者とその家族の支援のあり方について考察している。 c:認知症患者の実態を理解した上で安全な支援方法を身につけている。認知症患者と家族の実態を理解し、主体的に考え、行動しようとしている。	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	授業態度 記述の点検 (ワークプリント、ノート)

※令和４年度以降入学生用

後期　期末(12・1月)	認知症の理解	・認知症患者の家族への支援 ・認知症高齢者の現状 ・認知症に関する施策	a:認知症患者と家族の実態について関心をもち、知識を身につけている。 b:地域における認知症高齢者の支援体制について理解することができている。 c:事例を通じて認知症患者とその家族の支援方法を身につけている。認知症患者とその家族の実態を理解し、主体的に考え、行動しようとしている。	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	定期考査 ワーク(実習) シート 小テスト	授業態度 記述の点検 (ワークプリント、ノート)

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度